



東山代小学校便り

※学校ホームページ



2025. 6. 2

文責：中尾

※写真等パスワード
higashi07

◆「人にやさしく、まじめにがんばる子」

◆恥ずかしいとは・・・？

(4月30日の全校集会で、次のような話をしました。)

<一部抜粋>

今日は、みんなで「恥ずかしい」について考えたいと思います。

みなさんは、どんな時に恥ずかしいと感じていますか？

例えば、「失敗したとき」「ほかの人ができることができなかったとき」に、「恥ずかしい」と感じる人もいないのでしょうか。

しかし、人には「苦手なこと」や「真面目にがんばっているのにできないこと」はたくさんあります。

私にもあります。いろいろな人と出会うことが楽しみである反面、とても緊張して、うまく話ができなかったり、自分の思いを伝えることができなかったりすることがあります。

みなさんには、「苦手なこと」「真面目にがんばっているのにできないこと」はないですか？

誰にでも、1つや2つ！いや、3つや4つ！もっとあるかもしれません。

人は、一人一人違います。「苦手なこと」「できないこと」も違います。人は、そんな一人一人の「苦手なこと」や「できなこと」を、みんなで補い合いながら、助け合いながら生きています。

みなさんも、いろいろな大人や友だちに補ってもらったり、助けてもらったりしていませんか。

このことを知らない人や気づいていない人は、人が失敗したり、できなかったりしたときに笑います。そして、その人が傷つくような言葉を口にします。

人として、一番恥ずかしいことは、自分も多くの人に助けてもらっているのに、人が失敗したり、できなかったりしたときに笑うという行為です。また、その人が傷つくような言葉を口にすることです。

この学校は新しく立派な校舎になりました。

校舎だけではなく、一人一人の「苦手なこと」や「できないこと」を、みんなで補い合いながら、助け合いながら、勉強や運動に「まじめにがんばる子」がいる立派な学校に、みなさんがしていただきたいと思います。

「人にやさしく、真面目にがんばる」そんな人が増えてほしいと思います。

◆一人一人が輝いた体育大会でした

天気が心配された体育大会が5月18日(日)に行われました。

子どもたちは、5月の連休明けから、練習に励んできました。今年のスローガンは「一生懸命全力で、心を合わせて頑張ろう」でした。

4月に入学した1年生も一生懸命全力でがんばりました。6年生は、1年生から5年生をまとめながら応援の練習に励んでいました。練習の中で、「心を合わせて」という言葉が幾度となく聞かれ、スローガンを意識しながら練習に励んでいることが伝わってきました。



子どもたちの躍動する姿に感動された保護者の方々も多かったのではないのでしょうか。

私は、応援合戦や団体演技で見せてくれた姿にも感動しましたが、それ以上に感動したのは「徒競走」でした。走ることが得意な子もいれば、苦手で体育大会は嫌いだという子もいます。しかし、すべての子が、ゴールまで一生懸命走り抜けていました。

まさに、「まじめにがんばる子どもたちの姿」を見せてもらいました。

今年度までは、東山代運動広場をお借りしての体育大会でした。移動や準備など、不便さは否めませんでしたが、管理をしてくださっている方や調整いただいたコミュニティセンターの方々のご理解とご協力のおかげで無事に行うことができました。感謝申し上げます。

来年度は、新しく整備された運動場での体育大会になります。どのような体育大会になるのか楽しみです。

◆ほほえましい子どもの姿②

正門前の階段での光景です。「校長先生、おはようございます！この子、かわいかったちゃん！」と言いながら、高学年の女子が1年生の女子の手を握っておりてきました。この光景は男子にも見られます。手を握ってもらっている1年生は嬉しそうです。こんな子どもたちの「さり気ないやさしさ」を大事にしていきたいと思いました。

◆嬉しい声

先日、学校に「去年は友だちといろいろあって表情も曇っていましたが、今年になって家でも表情がよくなりました。お礼を伝えようと思って…」という嬉しい声が届きました。時として学校は批判の対象になり心が折れそうになることもありますが、子どもが困難を乗り越え笑顔になること、成長してくれることは私たちにとっては何よりも嬉しいことです。今後もこのような嬉しい声が届くよう、全職員で子どもたちの成長を支えていきたいと思います。